伊丹市環境基本計画（第3次）（中間改訂版）
令和７(2025)年度　年次報告書【要約】R8.8月発行



■伊丹市環境基本計画（第３次）（中間改訂版）について
　伊丹市では、「環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち」を環境の将来像に掲げ、気候変動、循環型社会、自然共生・生物多様性、都市環境、人づくりの５つの基本目標に基づき、各種事業や活動を展開することとしています。

■計画期間について
　2021年度から2028年度までの8年間を計画期間とし、2024年度に社会情勢や国の動向を踏まえ、中間見直しを行いました。2025年度は、第３次計画の５年目にあたります。

■年次報告について
　年次報告は、本計画における目標の達成状況や各種事業及び活動の実施状況について整理し、適宜、取組み状況の改善を図ることを目的として、毎年、作成・公表するものです。

年　度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
環境基本計画（第3次）	計画策定	→	改訂	→	中間改訂	→			目標年度

■コラム　昆陽池の野鳥～194種を記録しました～


コウノトリ９羽（ヘラサギ、クロツラヘラサギの姿も）

昆陽池は奈良時代に作られた農業用ため池で、昭和40年代に伊丹市が公園化を開始しました。
周囲に植樹された木々たちが現在では大きく育ち、下草が広がり、落葉した葉が堆積し、間伐され置かれた樹が朽ちている。街中に位置する公園で人によって創られた自然であっても、このように環境が変化することで多くの生き物が生息しています。

そんな生き物の中で「野鳥」は生態系の上位にあたる消費者・高次消費者であり、多くの動植物と係わりを持って生きています。2026年3月末現在、昆陽池公園で確認した鳥類の種類数は194種を数え、これは日本産鳥類目録（今までに日本において正式記録された鳥類の種類）に記載されている644種の約30%にあたります。昆陽池が多種多様な野鳥が生息し、渡りの中継地として利用され、野鳥たちにとって重要な場所であることが証明されています。

日々の観察・調査記録は、公園内（ふるさと小径入口）に設置した「昆陽池公園野鳥情報」という情報ボードで毎日発信しております。

『昆陽池公園野鳥観察グループ「チームK」』



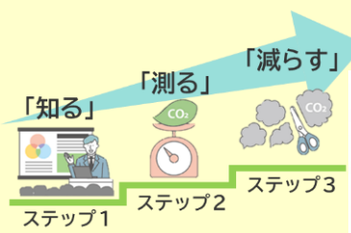
■令和8(2026)年度の取組

【気候変動】気候変動に対応するまち
～市内企業における脱炭素経営の促進と共創事業による企業・地域課題の解決～

市内企業における脱炭素経営の促進を目的に、伊丹市、経済団体、金融機関、支援機関で構成する「いたみ脱炭素コンソーシアム」が、市内企業を「脱炭素経営の導入」と「企業・地域課題の解決」の２軸で支援します。

脱炭素経営の導入支援

脱炭素と経営コストの削減の両立（脱炭素経営の実現）までワンストップで伴走支援します。





ガイドブックを用いて
市内企業に直接アプローチ☞

企業・地域課題の解決

市民と市内企業の共創の機会を創出し、参画する市内企業のＰＲ支援により市内企業の魅力・認知度の向上を図るとともに、共創事業の活性化による更なる意識変容促進と魅力的なまちづくりを目指します。

市内企業と市立伊丹高校の課題解決型探究学習の様子☞





☜市民・市内企業が協働する植林プロジェクトの様子

【循環型社会】資源が循環する環境に配慮したまち
～空港のあるまち伊丹　廃食用油が航空燃料に！～

市内の公共施設にSAFの原料になりえる「廃食用油」の回収ボックスを設置し、家庭から排出される廃食用油を手軽に分別して排出できる環境を整えます。

※SAF（持続可能な航空燃料）とは
持続可能性基準を満たす再生可能な有機資源や廃棄物を原料とするジェット燃料。廃食用油、木くず、古紙、化学由来の廃プラスチックなどから製造することができます。







飛行機の燃料ＳＡＦに
変身して全国の航空会社へ

市内２カ所に設置
・きららホール
・南分室
（9月以降はラスタホール）



伊丹市役所 市民自治部グリーン戦略推進室
環境保全課
〒664-8503　兵庫県伊丹市千僧１-１
TEL：072-784-8105（直通）

伊丹市環境基本計画（第3次）（中間改訂版）も併せてご覧ください。

■令和7(2025)年度の取組

～環境の将来像　環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち～

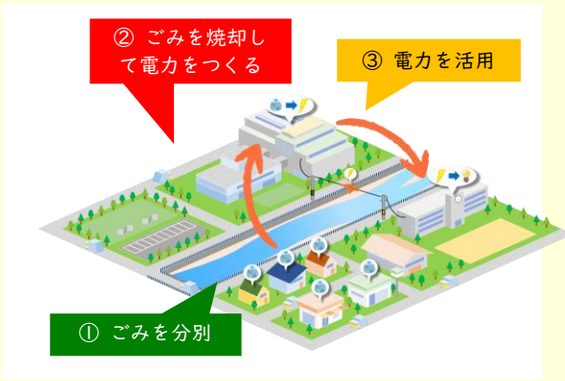
☆☆☆：2028年度目標達成
☆☆　：単年度目標達成
☆　　：目標未達

実績　目標

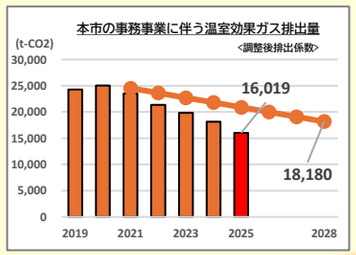
気候変動の緩和策・適応策

本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量　**49.7%削減**（2013年度比）　☆☆☆

豊中市伊丹市クリーンランドのごみ焼却過程で発生する熱を活用して発電したCO₂フリー電力を市内小学校等で活用する電力の地産地消事業について、発電電力の活用範囲を拡充し電力使用由来の温室効果ガスの更なる削減に取り組みました。



電力の地産地消事業のイメージ



※この項目は、実績値が目標値を下回ることが望ましい。

のぼり



ステッカー



公共施設、民間協力事業者にクーリングシェルターを設置しました。
（危機管理室）

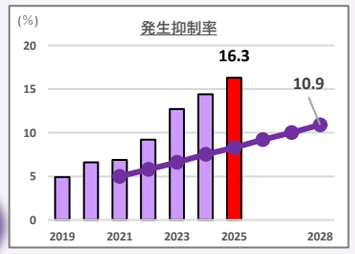
廃棄物の発生抑制・再使用等の推進・食品ロスの削減

ごみの最終処分量　**1,017トン(14.5%)削減**（計画年度2019年から）　☆☆☆

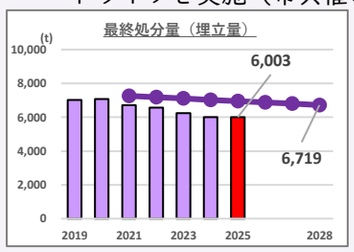
イベント用分別ごみ箱の貸し出しや廃食用油のSAF化などの取組を通じて、ごみの分別とリサイクルを推進しました。また、環境月間に合わせてごみの削減に関する広報活動を実施した他、市内11箇所の拠点回収や一般社団法人との共催よりフードドライブを実施し、未利用食品の回収を積極的に行う等、廃棄物の発生を抑制し、ごみの処分量を減らすための取組を積極的に行いました。



市役所1階においてフードドライブを実施（市共催事業）



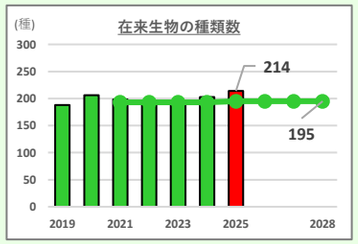
※この項目は、実績値が目標値を上回ることが望ましい。



※この項目は、実績値が目標値を下回ることが望ましい。



みどりの充実・生物多様性の保全



在来生物の種類数　**214　種類**　☆☆☆

※この項目は、実績値が目標値を上回ることが望ましい。

昆陽池公園等において、市民団体や事業者との共働により生物調査を行った結果、昨年度を上回る在来生物が確認できました。



昆陽池公園での生物多様性の保全・再生活動



1990年の開館以降、入館者累計500万人を達成しました。また、これまでの取組が評価され、日本博物館協会賞を受賞しました。
（伊丹市昆虫館）

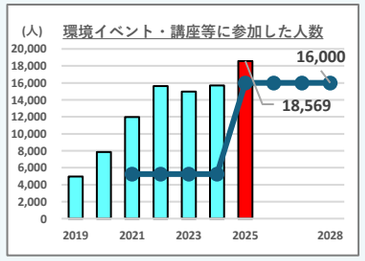
多様な主体が連携協力する体制の推進
環境教育・環境学習の推進

環境イベント・講座等に参加した人数　☆☆☆
18,569 人

関係機関と連携した体験型環境イベントを開催し、親子で楽しく学べる様々なイベントを通じて、気候変動、循環型社会、生物多様性について意識・行動変容を促しました。



Save the futureいたみ（昆陽池公園及びスワンホールにて）



※この項目は、実績値が目標値を上回ることが望ましい。

日々の園生活の中で、子どもと職員が共にごみの分別やリサイクル活動、環境に関する絵本等の読み聞かせや遊び等を通じ、環境に対する意識の向上を図ることができました。
幼児教育推進課(R8より幼児教育課)

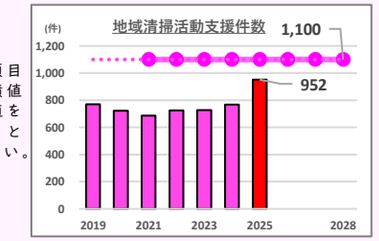


園生活の様子（廃材を取り入れた遊び）

生活環境の保全・良質な都市空間と住環境の形成・安全で快適な道路空間の整備

地域清掃活動支援件数　**952 件**　☆☆

自治会などが実施する地域清掃活動に対して、ごみの収集や、清掃物品の提供による支援を行い、環境美化の推進を図りました。



※この項目は、実績値が目標値を上回ることが望ましい。



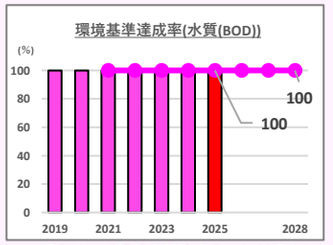
ごみ袋約5万枚、軍手約２万1000双を提供

環境基準達成率(水質BOD)　**100 %**　☆☆☆

水質、騒音・振動調査及び大気汚染状況、航空機騒音の常時監視を実施し、その調査結果をホームページにて公表しました。



公共用水域水質調査



※この項目は、実績値を維持することが望ましい。